庵主 松田清幸のしあわせ相談

「真言宗 長幸寺」の庵主・松田清幸（せいこう）師が、
読者の悩みに心ほぐれるアドバイスをおこないます。

〈長幸寺／野々市中学校前（野々市町三納）☎076-248-4441〉

http://www.siawase-deai.com

今回の相談／前回の「仏壇に供えたお酒が減った話」を読んで、思わずホロリとしてしまいました。お盆に、夫の墓参りに行ってきましたが、お墓の前で暑さとセミしぐれ以外、何も感じられず、私は信心が足らない人間なのかな、とむなしく感じました。お盆に霊は本当に帰って来るのでしょうか。庵主様、よろしくご教示くださいませ。（内灘町・57歳）

お盆に霊は帰って来る？

お盆の由来は、正式には「盂蘭盆会（うらぼんえ）」といい、お釈迦様の十大弟子の目蓮様が、亡き母が餓鬼道の世界に落ちて苦しんでいるのを助けたいと思い、お釈迦様に尋ねると「七月十五日に九十日間の雨季の修業を終えて帰って来る僧侶たちを、ご馳走を作って供養するように」と言われ、その教えの通りにすると、亡き母は餓鬼道の苦を逃れ無事成仏することができたという故事が始まりとされています。

お盆は亡くなった人たちが苦しむことなく成仏をしてくれるようにと、私たち子孫が報恩の供養をする、お約束の日なのです。私は祖先の霊は必ずお墓や自宅に帰って来てくれる日だと信じ、仏壇に季節のお花や野菜、果物、故人が好きだった食べ物を供え、ご先祖様をしのんでおります。もちろんお経も功徳です。

お墓の前で一心に手を合わせておられるあなたの心は必ずご主人に届いています。ご心配なく！

松田清幸師への相談を募集しています

“平成のかけこみ寺”の松田清幸師が、みなさんからの相談に丁寧にアドバイスしますよ。相談内容、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、ハガキか封書でお送りください。〒920-0919 金沢市南町2-1 北國リビング新聞社「リビングかなざわ しあわせ相談」係まで。このコラムは毎月最終号に掲載します